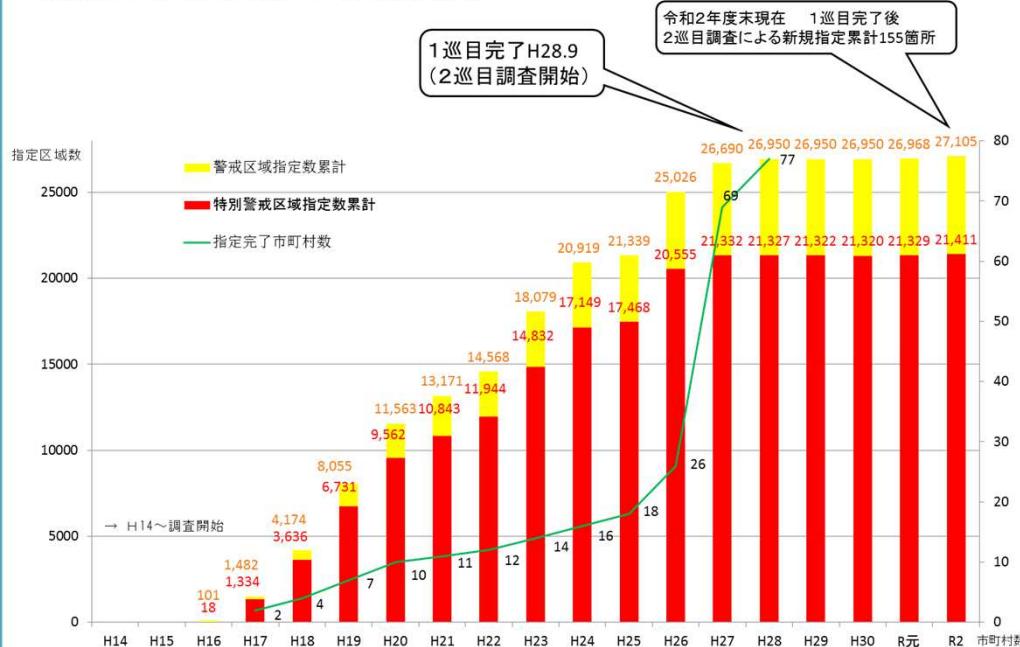


整備効果事例

土砂災害警戒区域等の指定状況

長野県 土砂災害警戒区域 区域指定推移



警戒区域の周知 【調査結果と区域指定に関する住民説明会】

土砂災害警戒区域の区域指定にあたっては、地域住民に説明会を実施。

土砂災害の事象や基礎調査結果の内容、土砂災害警戒区域、特別警戒区域の規制内容等について説明し、周知を図る。



区域指定の効果①【避難場所の選択】

警戒区域の情報を基に茅野市と民間会社が協定を締結
避難所として「工場」を利用

茅野市では、平成28年2月に民間会社(キツツ)と「災害時等における避難者支援に関する協定」を締結し、土砂災害警戒区域内の3施設に替わる避難所として「工場」を利用できるとした。

協定書によると、キツツ側は約400人が利用できる茅野工場の食堂を一時的な避難所として提供し、自主避難にも対応する。市は運営経費(人件費や施設借上料など)を負担。区長会を通じて住民に周知。



区域指定の効果②【適切な土地利用への誘導】

要配慮者利用施設の警戒区域外への誘導

要配慮者利用施設事業者が施設の増改築について相談。健康福祉部から砂防課へ情報提供。

既存施設が警戒区域内にあることを説明。

事業者は、土砂災害に対し、より安全な場所へ施設を移転

